



ホスピス緩和ケア週間のお知らせ

2024年10月6日(日)～10月12日(土)

「ホスピス緩和ケア週間」は、WHPCA(worldwide hospice palliative care alliance)が展開する世界的な緩和ケア普及啓発イベントである「世界ホスピス緩和ケアデー」(毎年10月の第2土曜日)の一環で日本独自の取り組みとして行われているものです。

世界ホスピス緩和ケアデー(10月12日)

ホスピス緩和ケアを必要とするすべての人へ

テーマ「Ten Years Since the Resolution: How are we doing?」

「緩和ケア」とは

がんと診断された初期の段階から治療と並行して行う身体的・精神的な苦痛を和らげるためのケアです。患者さん・ご家族の生活の質(クオリティ オブ ライフ:QOL)の維持向上を目標に、ボランティアを含む医師・看護師・リハビリ等の多職種がチームを組んでケアを提供していきます。がんで悩むあなたやあなた大切に方に寄り添い、自分らしい生活を送れるよう支援していきます。

期間中の緩和ケアやACPの普及・啓発活動への取り組み

- ・正面玄関入口・外来ブースにてポスター掲示やパンフレット展示を行います
- ・もしもの時に備えてACPについて考えてみませんか？

「ACP:アドバンス・ケア・プランニング」とは

人はそれぞれ人生観や思いに基づく人生設計をもって将来の事を考えています。それは医療についても同じことが言えます。これから受ける医療やケアについてあなたの考えを家族や医療者と話し合っ、「私の心づもり」として文章に残す事であなたの希望や思いが医療やケアに反映されるでしょう。その手順をアドバンス・ケア・プランニング(Advance Care Planning:ACP)と呼んでいます。これからの豊かな人生を目指して一緒に考えてみましょう。

(広島県地域保健対策協議会作成 ACPの手引き「豊かな人生と共に」より)

緩和ケア病棟について詳しくは
病院ホームページをご覧ください。

